

養鶏農協だより

—岡山県養鶏農業協同組合—

あけましておめでとうございます。

不況ムードで迎えた新年ですが、こんなときこそ組織の力で組合員の利益擁護と増進を計りたいと念願しています。みなさまも、種鶏管理の適正と経営の合理化を推進して頂きたいと存じます。

今年は巳の年とか、十二支に動物を配し、巳には蛇をあてるのは周知の通り。蛇は、一陽来復すれば冬眠から覚め、穴から出て活発に動き回ります。今年の養鶏界が、雌伏1年の闇から抜け出て、蛇のどとく執拗な生命力に溢れて雄飛することを期待し、祈念するものでございます。

年頭にあたり、一言ごあいさつを申し述べます。

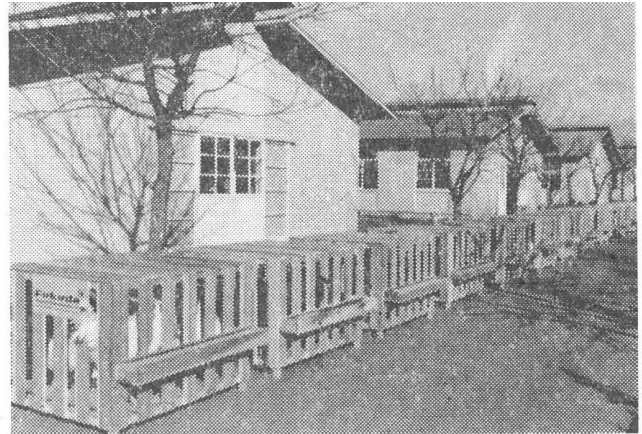
沖縄へ種鶏を積出し

かねて琉球政府より種鶏の分譲を要請されていましたが、昨年12月17日に同政府経済局畜産課長城間哲雄氏と技師玉城賢三氏が来訪され、正式に決定し、1月11日に研究所種鶏舎より次の通り選抜して出荷しました。

- 単冠白色レグホーン種
- L109系雄 3羽
- L113系雌 20羽
- 横斑プリマスロック種
- P201系雄 4羽
- P208系雌 20羽
- ニューハンプシャー種
- H230系雄 4羽
- H237系雌 30羽
- レッドコーニッシュ種
- C301系雄 2羽
- C302系雌 5羽
- ホワイトコーニッシュ種
- W315系雄 2羽
- W310系雌 5羽
- ホワイトロック種
- WP332系雄 2羽
- WP331系雌 5羽
- 計 102羽

これらの種鶏は、いずれも日本の沖縄経済援助資金で購入され、那覇市へ建設された国立種鶏場で飼養されます。

初生雛は、毎年かなりの羽数が沖縄へ輸出(?)されていますが、各鶏種の種鶏を、これだけまとまって出荷されることは初めてであり、今後も恐らくこ



んな例はみられないでしょう。

種鶏舎より選抜されて輸送箱に收容し鶏舎前に勢揃いした種鶏群

白色レグホーン種	3箱
横斑プリマスロック種	3箱
ニューハンプシャー種	4箱
レッドコーニッシュ種	1箱
ホワイトコーニッシュ種	1箱
ホワイトロック種	1箱

なお、これらの種鶏は動物検疫所神戸支所で48時間の検疫をうけた後船便で輸送されます。

また2月18日には、初生雛(種雛)を琉球政府向けに空輸する予定です。

神戸動検まで陸送するためのトラック積み込み作業。沖縄まで遠路の旅をする種鶏をいたわる気持からか、場員の作業も慎重である。

厳冬の風は冷たいが、種鶏群の前途を祝福するごとく冬の日差しはやわらかく輸送箱をつつんでいる。